



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	62,644	8.1	770	36.4	1,015	37.7	706	27.1
2019年3月期第1四半期	57,957	2.0	565	42.3	737	33.1	555	26.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 305百万円 (67.5%) 2019年3月期第1四半期 941百万円 (16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	65.28	
2019年3月期第1四半期	51.51	49.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	122,181	31,540	25.7
2019年3月期	114,673	31,996	27.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 31,412百万円 2019年3月期 31,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				70.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,000	11.7	5,500	43.6	5,400	21.8	3,800	30.4	351.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) KYOKUYO GLOBAL
SEAFOODS Co.,Ltd.、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	10,928,283 株	2019年3月期	10,928,283 株
2020年3月期1Q	109,196 株	2019年3月期	109,112 株
2020年3月期1Q	10,819,120 株	2019年3月期1Q	10,783,962 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復が続いておりますが、米中貿易摩擦の影響により、事業環境の不透明感が増しております。

水産・食品業界におきましては、人手不足による労働コスト・物流コストの上昇に加え、世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）の2年目として、『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進め、高収益構造へ大きく転換していくことを目指し、目標達成に向け取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は626億44百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は7億70百万円（前年同期比36.4%増）、経常利益は10億15百万円（前年同期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①水産商事セグメント

国内では、定塩鮭製品などの付加価値加工品が堅調に推移し、鮭鱒やエビの取扱いが伸長しました。また海外では、日本産サバ・イワシの輸出、米国子会社による米国内販売が伸長しました。鮭鱒などで価格調整が発生したものの、エビの利益率回復により補うことができました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

水産商事セグメントの売上高は299億12百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は3億80百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

②冷凍食品セグメント

水産冷凍食品事業では寿司種を中心とした生食用商品や、切身・煮魚などの加熱用商品の拡販に努めました。調理冷凍食品事業ではカニ風味かまぼこが伸長し、家庭用冷凍食品事業では、お弁当商品に加え、米飯類や煮魚など販売アイテムの多様化に努めました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は198億29百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は1億72百万円（前年同期比76.3%増）となりました。

③常温食品セグメント

缶詰販売は、供給不足に対応するため、国内生産品に加え海外生産品の取扱いを強化し、イワシ缶、サンマ缶などの青物缶詰を中心に拡販に努めました。また珍味製品においては、規格変更などのコストアップ対策に取り組みました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は48億61百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1億94百万円（前年同期比75.8%増）となりました。

④物流サービスセグメント

前期10月に行った連結子会社における会社分割及び株式譲渡により、売上は前年同期を下回りましたが、在庫貨物の確保を図り、配送事業強化に努めた結果、利益は前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は2億18百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は75百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

⑤鯉・鮪セグメント

加工及び販売事業では、キハダマグロ、メバチマグロなどを使用した赤身加工品や、マグロタタキなどの販売が伸長しました。また当社グループの国産養殖クロマグロについても、生育状況に合わせ出荷を行い、堅調に推移しました。一方で、海外まき網事業において、水揚げ数量が前年同期を上回るも、魚価下落の影響を受け、利益幅が減少しました。この結果、売上は前年同期並みを確保したものの、利益は前年同期を下回りました。

鯉・鮪セグメントの売上高は77億39百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は2億21百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ75億7百万円増加し、1,221億81百万円となりました。流動資産は、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ79億19百万円増加し、973億44百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少し、248億37百万円となりました。

負債合計は、借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ79億64百万円増加し、906億41百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少し、315億40百万円となりました。

この結果、自己資本比率は25.7%(前連結会計年度末比2.0ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2019年5月13日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,818	5,787
受取手形及び売掛金	35,540	37,183
たな卸資産	44,947	52,083
その他	4,126	2,296
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	89,425	97,344
固定資産		
有形固定資産	14,981	14,816
無形固定資産		
その他	549	540
無形固定資産合計	549	540
投資その他の資産		
投資有価証券	6,248	5,898
その他	5,262	5,374
貸倒引当金	△1,793	△1,793
投資その他の資産合計	9,717	9,479
固定資産合計	25,248	24,837
資産合計	114,673	122,181

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,208	12,104
短期借入金	24,469	31,204
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	472	346
引当金	941	529
その他	9,637	8,897
流動負債合計	54,730	63,081
固定負債		
長期借入金	23,193	22,872
引当金	111	131
退職給付に係る負債	4,369	4,298
資産除去債務	51	51
その他	221	205
固定負債合計	27,946	27,559
負債合計	82,677	90,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,308	1,308
利益剰余金	24,618	24,564
自己株式	△244	△244
株主資本合計	31,346	31,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	855
繰延ヘッジ損益	23	△49
為替換算調整勘定	172	187
退職給付に係る調整累計額	△903	△872
その他の包括利益累計額合計	475	120
非支配株主持分	174	127
純資産合計	31,996	31,540
負債純資産合計	114,673	122,181

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	57,957	62,644
売上原価	52,484	56,386
売上総利益	5,472	6,258
販売費及び一般管理費	4,907	5,488
営業利益	565	770
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	50	63
持分法による投資利益	80	49
補助金収入	38	119
為替差益	4	90
その他	99	59
営業外収益合計	283	384
営業外費用		
支払利息	104	115
その他	6	24
営業外費用合計	110	139
経常利益	737	1,015
特別利益		
固定資産処分益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	2	0
減損損失	—	10
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	9	10
税金等調整前四半期純利益	730	1,005
法人税、住民税及び事業税	204	330
法人税等調整額	21	19
法人税等合計	226	350
四半期純利益	504	655
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	555	706
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△50	△51

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△327
繰延ヘッジ損益	169	△72
為替換算調整勘定	△57	20
退職給付に係る調整額	37	30
その他の包括利益合計	436	△349
四半期包括利益	941	305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	997	351
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	27,100	17,935	4,769	253	7,830	68	57,957	—	57,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,346	1,434	56	424	642	309	10,214	△10,214	—
計	34,447	19,369	4,825	677	8,473	377	68,171	△10,214	57,957
セグメント利益又は損失(△)	335	97	110	58	285	△39	848	△283	565

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額283百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用271百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	29,912	19,829	4,861	218	7,739	83	62,644	—	62,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,926	1,276	70	436	1,136	319	11,166	△11,166	—
計	37,838	21,106	4,932	655	8,875	403	73,811	△11,166	62,644
セグメント利益又は損失(△)	380	172	194	75	221	△14	1,029	△259	770

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額259百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用308百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。